

平成23年度卒業研究概要

愛知県北設楽郡豊根村における地域振興とその効果

— 天空の花回廊「芝桜の丘」を事例として —

初等教育教員養成課程 社会選修 清水 美帆

本研究では村民で地域振興を行っている愛知県北設楽郡豊根村を取り上げ、その中でも観光振興の一例として天空の花回廊「芝桜の丘」に関わる具体的な取り組みを研究した。そこから、村役場と第3セクターのとよね観光株式会社や住民組織との結びつきから豊根村での地域振興のあり方を明らかにした。また、天空の花回廊「芝桜の丘」の来場者の反応から地域振興の効果と今後の天空の花回廊「芝桜の丘」についての提言を行った。

豊根村では茶臼山高原への来場者数が1991年度の50万人をピークに年々減少し、2007年度には20万人に落ち込んだ。そこで、村役場は天空の花回廊「芝桜の丘」を造ることで、茶臼山高原への来場者増加とそれに伴う村民の年間雇用の場の創出、さらに地域経済への循環による地域振興を考案した。具体的には村役場が天空の花回廊「芝桜の丘」の植栽計画や5月上旬から6月上旬の芝桜まつりを考える主導的な立場をとってきた。また、とよね観光株式会社や住民組織も植栽や地元の特産品の販売などを行ってきた。こうした官民一体による地域振興を行えたのは、村役場ととよね観光株式会社に村役場から助言や出向を通じた結びつきがあったためである。また、村役場と住民組織には村役場からの呼びかけや村役場の協議・住民組織の会への参加による結びつきがあったためである。

天空の花回廊「芝桜の丘」への来場者数は2008年から2010年に増加した結果、茶臼山高原の来場者数はグリーンシーズン(4月から11月)が増えている。この来場者の増加により、とよね観光株式会社の売上や村の建設会社の売上が伸びた。また、住民組織によって、地元の食などを売り出す機会になった。来場者調査からは、マーケティング調査・PR活動の有効性があることが実証された。最後に、以上の分析から天空の花回廊「芝桜の丘」のハード・ソフト両面から観光客の維持方法についての提言を行った。